

## 2023 年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞 実践ケア賞

社会福祉法人交野市社会福祉協議会交野市地域包括支援センター

認知症介護者交流会「はまゆりの会」

【設立年月日】2013 年 4 月

### 【授賞理由】

認知症の人と介護者が「集い」「支え合い」自立した生活を送ることができる社会の実現に向け活動されています。交流会によって育まれた地域住民の繋がりはなに事にも代えがたい地域資源であり今後の発展性についても高く評価することができます。

### 【団体概要】

平成 18 年 4 月から、交野市社会福祉協議会が「交野市地域包括支援センター」を設置し、委託を受けました。平成 24 年 10 月には、認知症の重度化を予防する事業を当センターに受託し、平成 25 年 4 月には、在宅で若年性認知症の家族を介護している介護者を対象とした意見交換会「はまゆりの会」を発足させました。平成 28 年 4 月からは、当センターが認知症総合支援事業を受託し、認知症地域支援推進員を配置して活動拠点として事業を拡大しました。そして、令和 4 年 4 月からは、若年性認知症に限らず、認知症介護者支援の対象者を拡大し、認知症の人と家族への一体的支援事業としても展開していく予定です。

### 【事業活動】

交野市地域包括支援センターでは「はまゆりの会」という名称で、若年性認知症の家族を在宅で介護している介護者を対象に、2 か月に 1 回の割合で定例会を開催しています。定例会では、座談会や料理教室、外出レクなどを通じて参加者同士が交流し、年間計画を作成しています。また、地域住民を対象とした出前講座や、専門職向けの認知症対応力向上研修の講師として、介護経験や介護者の思いを講話しています。

さらに、認知症ケアパスの作成時には掲載作成に参加し、「はまゆりの唄」という啓発 CD を制作し、地域の交流拠点や地域の認知症カフェなどで啓発活動を行っています。また「介護と仕事の両立支援」講演会に語り手として登壇し、市民対象に講演を行っています。第 8 期介護保険事業計画策定時には会としてアンケート協力を行い、認知症かるた読み札選定者としても参加しています。

### 【業績等】

交野市地域包括支援センターは、認知症地域支援推進員を中心に、認知症の人が意思を尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会を目指して活動しています。また、認知症の人とその介護者が集う認知症カフェや家族教室、ピア活動などの取組を推進し、家族の負担を軽減する支援活動も行っ

います。発足当初は「はまゆりの会」だけが活動拠点でしたが、地域の校区福祉委員会  
が「オレンジサロン」を立ち上げ、地域で支える仕組みづくりを進めています。今後は、  
公共スペースや既存施設を活用して認知症の人とその家族がともに活動する時間と場所  
を設け、本人支援、家族支援、一体的支援からなる一連のプログラムを実施することによ  
り、家族関係の構築や介護負担の軽減を図ることを目指しています。2023 年 4 月か  
らは、チームオレンジコーディネーターを配置し、地域の交流拠点を活用して「チーム  
オレンジ」として活動を進める予定です。